

グローバルが「サンシティ」をお薦めする理由



この度、グローバルは「サンシティ」（株）ハーフ・センチュリー・モアと業務提携をしました。いま高齢化社会を迎えて、たくさんのシニアレジデンスが誕生しています。その中で、なぜグローバルがサンシティをご紹介するのかについてご説明致します。

【自立した方を対象としている】

シニアの身体状態については厚生労働省の定義として<要支援><要介護>という区分けをしていますが、多くのシニアレジデンスもそれを基準として受け入れ体制を設定しています。

サンシティはその中でも<自立>（支援や介護が現在は必要ない）している方々を対象としている数少ない施設です。もちろん歳を重ねて支援や介護が必要になった場合の体制も万全です。

【企業理念に賛同】

社名である「ハーフ・センチュリー・モア」は『社会や家族のために働き、高齢を迎えたとき、その先にこそ、今まで以上に輝いて暮らせる人生を。』という思いで、いつまでもお元気で、人生をもっと楽しんでいただきたい。もう半世紀（ハーフ・センチュリー）すこやかに。という理念を掲げた会社です。

十数年前、親しい方にご紹介いただき、創業者の金澤富夫さんをお訪ねしてお話しを伺う機会をいただきました。その折にこの会社の企業理念をお話しいただき感銘を受けたことを昨日のここのように思い出します。

高度成長社会で一生懸命働いた世代の方々が、高齢を迎えたときこそ、より幸せに人生を楽しむ生活の場を提供するためにサンシティを立ち上げた、と金澤さんはおっしゃいました。さらに、貴重な退職金などの財産を投じていただくこの事業は、会社の社会的な信用が必要である、そのために自己資本のみで創業し、借入金なしの安定経営という方針を貫いている、そしてさらなる安定のために日本を代表する約100の企業による出資を受けて安心した資本体制（資本金120億円）にしてきたとのお話しでした。

【快適な生活環境とは】

特に印象に残ったお話しはサンシティの環境づくりのことでした。

「施設は物質なので、「開業の日」が一番新しく、美しいのですが、その翌日から毎日少しずつ劣化が始まります。しかしその劣化のスピード以上に清掃、お手入れを毎日続けていけば、「開業の日」の美しさを維持していくことができます。そして「美しく気持ちの良い環境」は、そこにいる人々の心にも大きく影響するのです。」

と金澤さんはおっしゃいました。その理念はいまでもそれぞれのサンシティの施設に生きていと実感します。

【グローバルの旅と安心できる日常】

私共は、グローバルの旅で一緒させていただき方々と、旅先でいろいろなお話しを伺う機会に恵まれます。帰国してからご自宅にお伺いすることもございます。これまで「シニアレジデンスに引っ越ししたからご案内しますよ」とお誘いいただき、休日に様々な施設にお伺いする機会をいただけてまいりました。その中で創業者の理念が生かされているサンシティの魅力をあらためて感じています。

「旅」は、新しい体験や感動の連続があり＜非日常＞であるといわれます。一方で旅を本当に楽しめるのは安定した、安心できる日常の生活があるからだともいえます。

「グローバルの旅」をお選びいただいた方々と、末長くご旅行をご一緒させていただきつつ、ご縁をこの先も繋いでいければと願い、サンシティの「素敵日常」をご紹介します次第です。

(株) グローバル ユース ビューロー

代表取締役専務 柴崎 聡